

脱毛方式による効果・合併症の比較

吉原 伯¹ 山口 憲昭¹

Nori Yoshihara¹ Kazuaki Yamaguchi¹

湘南美容クリニック¹

【背景】

新しい脱毛方式である蓄熱式脱毛（蓄熱式）が普及してきている。我々は、従来式のレーザー脱毛（従来式）と蓄熱式の両方を使用している。両者の使用経験を元に、治療効果および合併症について、比較検討を行った。

【方法】

- (1) 2017/5/15~2017/9/28において、脱毛治療を行い、合併症が起きたものを集計した。80,318件に対して、不均一な効果、および熱傷、凍傷発症について χ^2 検定によって検討を行った。
- (2) 2016/1/1~2017/9/8において脱毛を行い、硬毛化が起きたものを集計した。硬毛化については379,877件について χ^2 検定によって検討を行った。
- (3) 2017/9/1~2017/9/30において、脱毛治療後1ヶ月以上経過している方を対象に行い、治療効果については従来式300名、蓄熱式406名に対して主観的に評価してもらうアンケートを実施した。それらについて χ^2 検定によって検討を行った。

【結果】

- (1) 不均一な効果において、蓄熱式(0.078%)の方が従来式(0.31%)よりも有意に優れていた。(p<0.01)。熱傷、凍傷においては有意差を認めなかった。
- (2) 硬毛化の発生頻度は、蓄熱式(0.0034%)の方が従来式(0.13%)よりも優位に低率であった。(p<0.01)。
- (3) 効果の実感においては、有意差を認めなかった。

【結論】

蓄熱型の方が従来式に比較して、効果は同等で合併症発生頻度が低いことが示された。